

感染症予防ガウン製作の (代用品)

みんなで
応援しよう!

募金に ご協力を!



避難所運営スタッフ



災害ボランティアセンタースタッフ

要配慮者介護スタッフなど

寄附金の手続きにつきましては、裏面をご覧ください。

寄附金提唱管理 公社 SL 災害ボランティアネットワーク
製作配布 ざま災害ボランティアネットワーク
協力 座間市社会福祉協議会

5月25日政府は、COVID-19の非常事態宣言を解除し、経済活動の再建に舵を切り始めました。ざま災害ボランティアネットワーク並びに公社SL災害ボランティアネットワークは、現下の情勢を見ると感染拡大状況は止まらず、秋から冬にかけて感染の拡大を予想しています。今後、COVID-19に対応するワクチンや治療薬が開発されるまでは、「**あたらしい生活様式**」のもとでの災害対応が要請されており、行政も鋭意取り組みを行っています。

しかし、**災害はいつ来るかわかりません**。私たちは、発災時、各地の避難所で活動する行政職員、地域の避難所運営委員及び、災害ボランティアセンターなどで活動する、社協職員、運営ボランティアの「いのち」を守るために必要な「**感染症予防ガウン(代用品)**」を製作して備蓄する活動に取り組みます。これは活動者の自助のための重要な資機材だと考えます。

私たちは、この「感染症予防ガウン製作募金」の「寄附金」を活用して、少しでも安全・安心な地域の創出に取り組みたいと考えて活動を始めました。ぜひ、皆様のお力をお貸しください。

「避難所運営委員会」とは

多くの自治体が災害時の避難所の開設は、行政、地域の自治会や自主防災会が連携して避難所の開設や初動の運営活動に取り組む組織です。(地域によって呼称は異なることがあります)。それは、行政職員の居住地の関係などで即時対応ができないことを想定して、最低でも24時間後には避難者の受け入れができるように取り組むための仕組みです。そこで、活動される方は、形はどうあれ「地域のボランティア活動者」です。

「災害ボランティアセンター」とは

地域で被災されて「助けて欲しい」という方と「助けてあげたい」という救援活動ボランティアの方を引き合わせて、地域内で困っている被災者の方の生活復旧のお手伝いをする「中間的センター」を言います。多くの場合には、地元自治体と当該地域の社会福祉協議会並びに当該地域の災害ボランティア団体が連携して運営する組織です。

感染症予防ガウン製作のための寄附金申込書

令和 年 月 日

2,000円 × 口数 金額 金 円

御芳名：

上記の金額の寄附を申し込みます。

住所：〒

<寄附方法> 該当する方法にをいれてください。

お振込み

【振込先】金融機関名 ゆうちょ銀行 口座番号 10160-60899471 加入者名 社) SL災害ボランティアネットワーク
※他行からの振込の場合は、店名(店番)：018 / 預金種目：普通 / 口座番号：6089947

現金 (現金の場合は、担当者受領書を控えとしてお受け取りください)

※10月以降に公益社団法人SL災害ボランティアネットワークより寄附金受領証明書を郵送いたします。
お手数ですが、振り込みによる寄附金申込書は、座間市総合福祉センター(サニープレイス3階)の
ざま災害ボランティアネットワークのメールボックスに入れてください。
または、**zsvn_info@yahoo.co.jp** へお送りください。
現金の場合には、申込書をZSVN会員にお渡しいただき受領書をお受け取りください。